

# 日本共産党のえんど久子市議が提案



## にぎわい創りのために

6月17日の市議会一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は、まちづくりや観光のPRのため、いくつかの具体的な提案をしました。

### まちなか健康教室などを提案

えんど久子市議は「中心市街地活性化のため、中心市街地でフードコート的なものや食べ歩き、中高生が集まるイベントや教室、また、中高年対象の健康教室などを検討できないか。ONSENツアーリズムと言うなら全庁的な取り組みで知恵を

出し合い力をあわせることが大切ではないか」と提案しました。商工課長は「商店街の空き店舗を改装した『プラットホーム』を公民館的に活用しているが、その点も前向きに検討したい」と答弁しました。

### まちなか出前保育を準備中

3月の市議会で、えんど久子市議は「にぎわいづくりのため商店街で出前保育ができたか」と提案しました。その後のとりくみについて質問。児童家庭課長は「現在準備に取り

りかかっており、詳細が決まったら市報や別府子育て支援サイト『わくわく別府っ子』などで広報したい」と答弁。えんど市議は早い時期の実施を要望しました。

### 共同温泉の個性もつとPRを

また、えんど久子市

議は、「町内ごとにある温泉は他の温泉地にはない別府の宝。それぞれの温泉に個性や歴史があり、それぞれ誇りを持っている。各温泉の個性にもつともつと光をあてていく取り組みができないか。たとえば『路地裏温泉自慢大会』のような企画もおもしろいのでは」

と質問。

観光まちづくり課長は「共同温泉の特徴や伝統などについても住民の方の協力をいただきながらPRすることは、別府八湯温泉道をさらに魅力あるものとし、観光客と住民との交流を促進するものと思う」と答弁しました。

### スイーツのPRをしては

さらに「食の観光として鳥天や冷麺に取り組んでいるが、プリンやロールケーキなどスウィーツや銘菓のPRに取り組んではどうか」と提案。これに対し、

「スウィーツや銘菓は観光の重要な要素となるものであり、あらゆる機会をとらえて掘り起こしていきたい」と答弁しました。今後とも知恵を出し合いながら、まちづくりや観光振興に努力したいと思えます。みなさんのご意見をお寄せ下さい。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

**No.435**  
2010.7.14.